

小型ペットボトル空気砲 2.0

改善点

通常のペットボトル（500mL）で製作した空気砲は、小学校低学年の児童には扱いにくいいため、小型のペットボトル（112mL）で製作した。

1 はじめに

- ・ペットボトルの中の空気が、小さな飲み口から一気に飛び出す。飛び出した空気はかなり遠くまで届く。
- ・小さなペットボトルだが、勢いよくスポンジ玉が飛び出す。

2 準備

- ・空のペットボトル（112mL）
- ・風船
- ・スポンジたわし
- ・ハサミ
- ・カッター
- ・ビニールテープ



2 作り方

<空気砲を作ります>

- ①ペットボトルを底から1cmくらいのところで切る。飲み口側を使う。
- ②風船の一番ふくらんだところより少し上で切る。丸くなっている部分を使う。



- ③ペットボトルの切り口で風船が破れないようにビニールテープを巻く。ビニールテープを切り口に入れて内側に折り曲げる。



- ④切った風船をペットボトルにかぶせ、ビニールテープを巻いてしっかりと風船を固定する。



【本体完成】



<スポンジ玉を作ります>

- ①スポンジたわしに四角（2cm×2cmの大きさ）の線を引く。



- ②線に沿って、まず、四角に切る。
- ③切った四角のスポンジを、ペットボトルに入れやすいように角の部分を切る。切りすぎないように少しずつ小さくく。



↓
【スポンジ玉完成】



※スポンジ玉の代わりに緩衝材（右写真）の玉を利用することもできる。



3 遊び方と留意点

- ・風船を軽く引き、手を放すとペットボトルの飲み口からスポンジ玉が勢いよく飛び出す。飲み口を人に向けない。
- ・風船が破れないように、つめでひっかけたり、引き過ぎたりしない。

|